

■7月30日

全日空、機内サービス充実、「Inspiration of JAPAN」の新塗装機も発表

全日空は24日、ブランドコンセプトの「Inspiration of JAPAN」の文字を塗装した機材の運航を開始すると発表した。機体デザインは1号機を8月24日に就航する予定で、最終的には全機材に導入する方針。「Inspiration of JAPAN」の文字に加えて機体前方に日の丸も配し、日本の航空会社であることを強調する。

また、サービス拡充、第1弾として9月1日から国際線の食事、飲み物と一部国内線プレミアムクラスの食事を刷新。著名料理人10名と酒やコーヒーの専門家5名、全日空のシェフで「THE CONNOISSEURS」を立ち上げてプロデュースする。「CONNOISSEUR」は「その道を極めた目利き」を表す言葉という。

機内装備では、長距離国際線でファーストクラスとビジネスクラスに新しい寝具を導入。例えばビジネスクラスでは、初めてベッドパッドを搭載する。また、ホノルルを除く北米と欧州線で、ビジネスクラスにロクシタン製のアメニティキットの提供も開始する。

(トラベルビジョン)7/29

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58423> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58423>)

(ANAプレスリリース)7/29

http://www.ana.co.jp/pr/13_0709/13-079.html (-> http://www.ana.co.jp/pr/13_0709/13-079.html)

成田空港、上半期、国際線旅客数、前年比1%増、国内線、同82%増

成田国際空港(NAA)によると、2013年上半期(2013年1月～6月※)の国際線旅客数は前年比1%増の1462万1977人となった。日本人旅客は4%減の759万771人、外国人旅客は14%増の413万9852人、通過客は1%増の289万1354人だった。航空機発着回数は1%増の7万3282万回だった。

一方、国内線は、旅客数が82%増の217万4670人、発着回数が50%増の2万1455回となり、旅客数、発着数ともに上半期で過去最高となった。

また、6月単月では、国際線旅客数は2%増の250万9335人で、日本人旅客は7%減の120万6707人、外国人は23%増の73万2940人、通過客は前年並みの56万9688人だった。発着数は、国際線が3%増の1万2260回、国内線が63%増の3948回。いずれも、本邦LCC2社の新規就航や増便及び定期貨物便の運航開始などにより過去最高となった。

(トラベルビジョン プレスリリース)7/29

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58415> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=58415>)

(ANAプレスリリース)7/25

http://www.naa.jp/jp/press/20130725_5.pdf (-> http://www.naa.jp/jp/press/20130725_5.pdf)

日航、2013年度入社、経験者採用募集、業務企画職

日航は29日、2013年度入社業務企画職(地上職 事務系)社員の経験者採用の追加実施を行うと発表した。

今回の採用は、前回同様、多様な経験・知識を有する人財を採用するため実施するものです。採用数については、今後必要数等を精査した上で確定する。

(JALプレスリリース)7/29

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201307/002580.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201307/002580.html>)

国交省、羽田空港、2014年春ダイヤ、国内線発着枠3路線、新提案方式を採用

国交省は29日、「羽田発着枠政策コンテストの評価等に関する懇談会」の初会合を開催した。コンテストは、羽田空港発着枠1日3枠について、地方ネットワークの維持・拡充の観点から、地域が航空会社とのパートナーシップによる提案を募集して、優れた提案を選んで発着枠を付与するもの。2014年夏ダイヤ(3月30日)から、配分された発着枠が使えるようにする。

8月にも提案の募集を始める。

コンテスト枠の使用期限は、2年間(2014年夏ダイヤ～2015年冬ダイヤ)とする方針。2016年夏ダイヤ以降の扱いについては、2015年夏ダイヤ途中までの成果を検証し、継続使用、コンテストの再実施等を判断する。

提案主体は、地方公共団体又は当該地方公共団体が会員である協議会等の団体が、航空会社と共同で提案することとする。

(日刊航空)7/30

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)

中国、国産機C919、2014年末にも初飛行

中国が「大型航空機」と位置づけ開発しているC919が2014年末にも初飛行をする。同機のエンジン開発を担当している米国のCFMインターナショナルの関係者が明らかにした。エンジン開発は順調で、2013年9月に各種の測定を行ったうえで、14年の初飛行を目指す。

C919は座席数は168-190席で、対抗機はエアバスのA320シリーズなど。

(searchina)7/29

http://news.searchina.ne.jp/disp.cgi?y=2013&d=0729&f=business_0729_073.shtml

EU、アメリカン・USエアウエイズ合併を承認する見通し

(ロイターによると)

米AMR傘下のアメリカン航空とUSエアウエイズによる110億ドルの合併計画を審査している欧州連合(EU)の欧州委員会は、両社が大西洋航路の一部発着枠返上に同意したことを受け、合併を承認する見通し。関係筋3人が29日明らかにした。

アメリカン航空とUSエアの合併をめぐることは、欧州委が大西洋航路について懸念を表明したことを受け、両社が今月、英ヒースロー空港と米フィラデルフィア空港の発着枠を返上する案を提示していた。

関係筋の1人は「案件は承認される見通しだ」と述べた。

欧州委は8月6日に両社の合併計画について判断を示す。

欧州委のライアン・ヒース報道官はEU競争当局の判断についてコメントを差し控えた。

USエアもコメントを拒否。AMRには現時点で連絡がついていない

(ロイター)7/30

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0FZ3OK20130729> (->

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0FZ3OK20130729>)

ボーイング787関連:ボーイング社、ELT、他機種でも点検指示

(ロイターによると)

米ボーイングは28日、各航空会社に対し、米ハネウェル・インターナショナルの救命無線機についてのデータを集めるため、世界中で航空機を検査するよう求めた。ロンドンのヒースロー空港でボーイング787型機(ドリームライナー)が発火した問題を受けた措置。

小型機から大型機まで最大1200機にハネウェル製救命無線機が搭載されてる。ボーイングはできるだけ多くの救命無線機を点検し、規制強化の是非に関する当局の判断材料とするため、10日以内に報告するよう求めている。

ボーイングの広報担当者は28日、電子メールの声明で「ボーイングは、717型機、次世代737型機、747-400型機、767型機、777型機の運航会社に対し、ハネウェル製の航空機用救命無線機(ELT)を搭載した航空機を検査するよう求めている」と発表。「検査の目的は当局による規制づくりを支援するためのデータ収集だ」としている。

米連邦航空局 (FAA) は25日、787型機について、ハネウェル製ELTの取り外しまたは点検を航空各社に指示したものの、その他のタイプの航空機には対象を広げていない。

救命無線機は、墜落の際に救助隊員が位置を特定するために利用される。ボーイングや欧州航空防衛大手EADS 傘下のエアバスの旅客機を含め、約20タイプの航空機に搭載されている。

(ロイター) 7/29

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0FZ07420130729> (->

<http://jp.reuters.com/article/marketsNews/idJPL4N0FZ07420130729>)

ボーイング787対応: エアバス社、ELT、搭載点検

(ロイターによると)

EADS(EAD.PA)傘下のエアバスは29日、米ハネウェル・インターナショナル(HON.N)製の救命無線機が自社の航空機にどのように搭載されているかについて点検を行うと発表した。

ロンドンのヒースロー空港で同無線機を搭載した米ボーイングの航空機が発火した問題を受けた措置。

エアバスの広報担当者は、「われわれの記録によるとこの類の問題が起きたことはない」としながらも、予防措置として同無線機の組み込まれ方について追加的 point check を行うと述べた

(ロイター) 7/29

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTJE96S00G20130729> (->

<http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPTJE96S00G20130729>)

ボーイング787対応: 国交省、ELT、他機種でも自主点検を指示

国交省が26日発行したTCDでは、ハネウェル社製のELTを搭載した他の機種についても、国内の航空会社に対して自主的な点検の実施を指示した。

同省によると、国内において787型機以外でハネウェル社製のELTを搭載した機材は、合計52機あることがわかった。全日空のB777型機とB747型機、B767型機の3機種で計38機、ジェットスター・ジャパンのA320型機13機、春秋航空・日本のB737-800型機1機に搭載されている。

(日刊航空) 7/29

<http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm> (-> <http://www.da-news.co.jp/xhp/today.htm>)